

令和5年1月31日

令和4年度

第10号



学校だより 2月

自分大好き みんな大好き ひとみ かがやく 西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 Tel.814-3603
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka>



春に向かって

副校長 宮台 純子

2023年が始まってから、1カ月が経過しました。ご家庭や地域の皆様におかれましては、よい年を迎えられていることとお喜び申し上げます。西が岡小学校では、1月10日の朝会で始まりました。子どもたちが、気持ちを新たにスタートできたことを頼もしく思うとともに、今年も充実した一年にしたいと思いました。

1月20日は大寒でした。大寒は、季節の移り変わりの目安である二十四節気の後24番目の節気で、寒の内とも呼ばれ一年で最も寒さの厳しい時期です。寒いのは苦手な私ですが、空気が澄み、富士山や丹沢の山々の見事な姿を見られるのは寒さのおかげです。校庭で元気に遊んでいる子どもたちを見習って、寒さのよさを見つけながら、今月も前向きに過ごしていきたいものです。

さて、寒さは続きますが、暦の上では大寒の次は立春で、春となります。桜などの木は、秋に葉を落として、冬を越します。桜の木をよく見ると、いつの間にか枝先にたくさんの木の芽が付いています。何も変わらないように見えている樹木たちですが、寒さに耐えながら、根から水分や養分を吸い上げ、幹から枝々に送り、花を咲かせたり葉を芽吹かせたりするための大切な準備を着々と進めているのです。

子どもたちにとってこの2月は、次の学年に進級する準備の大切な時期です。一人ひとりの子どもたちがそれぞれの花を大きく咲かせることができるよう、それぞれの学年の仕上げが着々とできる時期にしたいと思います。苦手なことやさらに力を伸ばしたいことを振り返り、新たなめあてをもって取り組んで欲しいと思います。子どもたちそれぞれの花が咲くのがとても楽しみです。

ご家庭におかれましても、これまでの成長を親子で確かめ合い、伸びたところを認め、一緒に喜んでください。まだ結果として見えていなくても、土の中で根が水分や養分を吸上げている途中と捉え、がんばっている過程を認め、やる気を高めていただければと思います。

今年の冬は新型コロナウイルスに加えてインフルエンザも流行しています。健康に十分留意しながら、保護者・地域の皆様とともに、子どもたちそれぞれが咲き誇る春に向けて一日一日を大切に支援していきたいと思います。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。